

はあもにい 第 23 号

・昭和 48 年 1 月 13 日 第 3 種  
郵便物認可  
・H S K 通巻 441 号  
・発行 2008 年 12 月 10 日  
・発行人 北海道身体障害者  
団体定期刊行物協  
会 (H S K)  
細川 久美子  
〒063 札幌市西区八  
軒 8 条 東 5 丁目 4-18  
・定価 110 円  
・編集 はあもにい編集委員会  
(0144) 87-3800

# 第 20 回白老愛泉園まつり～絆を深め～

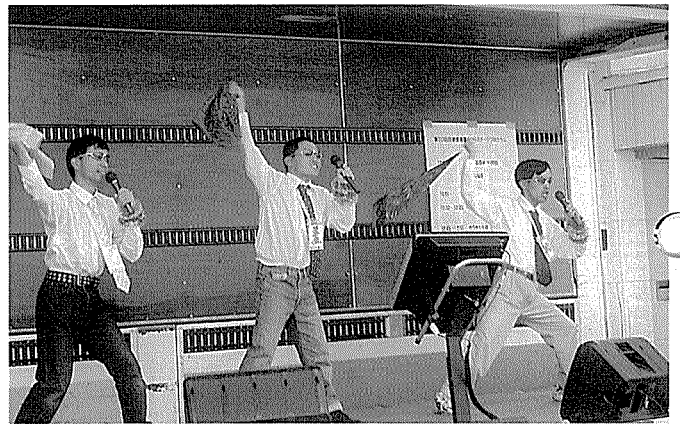
～私達かしまし娘です～



年に一度の一大イベント『白老愛泉園まつり』は、今年で 20 回目の開催を迎えました。

平成元年を第 1 回として、開催当初より収穫祭的な目的や、ふれあいの場の提供、町民の方への白老愛泉園への理解や活動内容の啓蒙等を目的に、例年多くのボランティアの方々のご協力のもと開催して参りました。

長年の開催の中で当初の目的は、ある程度果たされて来たと思われ、当施設及び法人各施設の活動も広く町内に浸透して来たと思えます。



羞恥心を歌っています～紅白出場おめでとう！

このような状況を踏まえた中で、今年も趣向を変え、法人各施設の利用者・保護者の方々を中心に参加・交流を通して楽しめる行事にしたいと考え、規模を縮小した中で開催しました。

『まねき猫』によるよさこいソランを始め、利用・保護者の参加によるカラオケやゲームなどを行い、最後にはビンゴ大会も行いました。

また来年も楽しいイベントにしたいと思えます。

家族でじゃんけんむかでゲーム楽しかったよ～



真剣なまなざしで何をつっているのかな？



僕、崖の上のポニョ歌ったよ!!





ウマイ・ウマイ



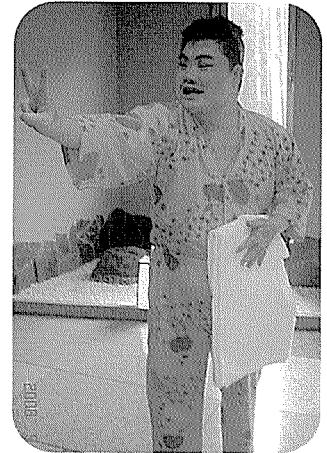
ピース!

第一班社会見学旅行  
9月3日～北湯沢第一名水亭

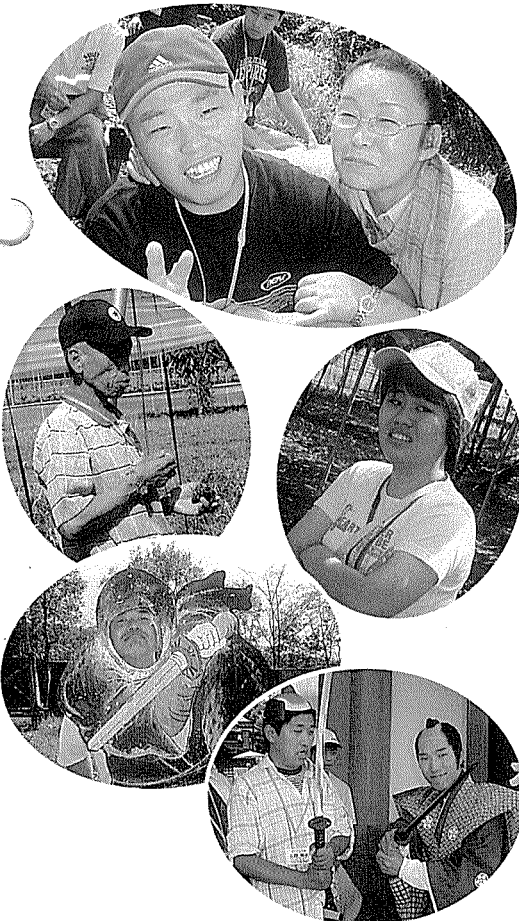
五感を働かせそれぞれが、自分なりに社会を感じている事でしょう。この体験が何より大切です。もうすぐ今年も終わり、年が明けると「今年はどこへ行くの?」「あと何日寝たら?」とそんな声が又聞こえて来る事でしょう!

来年はどんな発見があるのか、輝ける笑顔が見られる事を今から私も楽しみでなりません。

去る9月3日・4日愛泉園の皆さんが一番楽しみにしている社会見学旅行(第一班)に行ってきました。今年、登別伊達時代村にて江戸の町を楽しんだ後、北湯沢温泉に宿泊し、次の日にはぶどう狩りも体験する事が出来ました。旅先での皆さんの表情は輝いています!日頃施設内では見られない新たな発見も多々あるのではないのでしょうか?



白老愛泉園<社会見学旅行>楽しかったよ!!



第二班社会見学旅行  
9月8日～北湯沢第一名水亭

9月8日から1班と同じ行程で2班の旅行は実施されました。日頃の行いが良いのですばらしい晴天に恵まれました。温泉・食事・果物狩のすべてが楽しく利用者の笑顔あふれる思い出となった事と思います。印象に残った思い出として、伊達時代村での迷路屋敷!?が印象的でした。あの時の利用者・職員共に絶叫し倒れこみ助け合い脱出した後の達成感と爆笑は今年一番!かもしれません。私は今でも思い出し笑います。

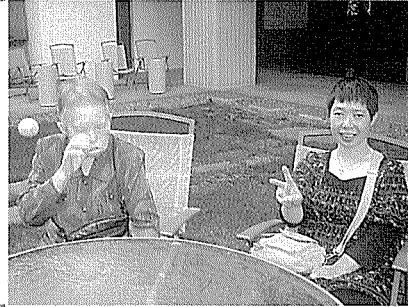
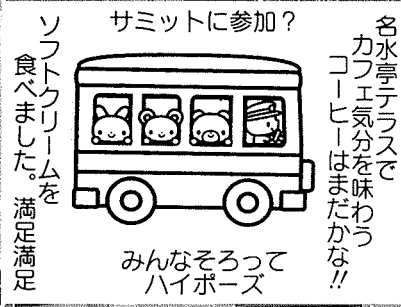
今回の旅行が皆の記憶に少しでも残り、ふとした瞬間にクスッと笑ってくれたらうれしいと思います。来年は、どこに行こうね?

### 第三班社会見学旅行 9月11日、北湯沢第一名水亭

3班は高齢の方中心に9月11日・12日の二日間で、大滝・北湯沢・洞爺湖方面を巡る『ゆつたり一泊旅行』へ出掛けました。恵まれた天気のもと、車内から所々



々紅く色づく景色を眺めて峠を越えて行きました。途中大滝の公園で買い物や記念撮影をするなどして目的地の名水亭に入りました。大きな宿ではゆつたり寛い



だ時間を過ごし、宿泊のメイン夕食は蟹に天婦羅！豪華なお膳を見て味わい、食べて味わって食事を満喫している様子でした。移動距離が長く少々疲れている様子も感じられましたが、地域の自然や空気にふれあい、旅行を楽しんでリフレッシュ



して頂けたのではないかと思います。



## 白老愛泉園 <社会見学旅行>楽しかったよ!!

### 第四班社会見学旅行 9月16日、仁木町方面

利用者2名と職員2名の4名で仁木町方面へ日帰り旅行に行つて来ました。食欲旺盛な2人は、焼き肉、ぶどう狩りと秋の北海道を満喫してくれたものと思います。旅行や外出は、私たちにとつても普段の生活から開放された非日常的なイベントだと思います。非日常的な出来事は、そこで起こることへの期待と不安を生じ、そのことが日常的な生活からの開放感をより一層強めるのではないのでしょうか。社会的なマナーなど2人にとつては不安もあったことと思えますが、それを上回るサプライズを体感してほしいと願いました。私たちも2人の果てしない食欲にサプライズをもらいました。

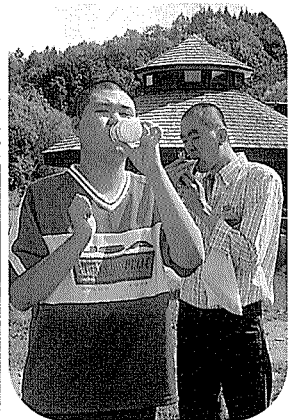
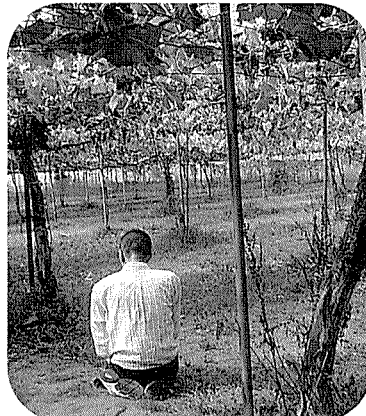


アチチアチチ

もの思いにふける今日この頃・秋ですネー



美味しいネー 食べてばかり!



美味しいネ!!



軽作業部 一泊旅行 in 札幌

今年の軽作業部旅行は、出来るだけ皆さんの希望を盛り込んだ内容で実施したいと考え、アンケート調査を行い、日帰りコース(旭川・旭山動物園)・一泊旅行(札幌・定山溪温泉)に分けて計画しました。一泊旅行では、比較的近郊と言う事もあり、時間を有意義に使用できることから、アンケート調査でも希望の多かった、動物園・映画鑑賞・買い物・温泉入浴等を盛り込んだ計画にし、「札幌満喫コース」と題し実施いたしました。当日の天候は晴れ。11月上旬と言う事もあり、冷え込むことも予測していましたが、日中は天候にも恵まれ、秋晴れの中、心地よく過ごすことが出来ました。



円山動物園では、低迷した来客を取り戻すため、旭山動物園に見習い様々な工夫(エサの与え方、動物の習性に合わせた施設の設置等)してました。映画鑑賞では話題の「崖の上のポニョ」を鑑賞。人間になりたい魚の「ポニョ」と人間の子供(そうすけ)との出会い。見ている者を夢の世界に連れてくれるそんな温かさを感じる作品でした。最後に1日の疲れを癒してくれるのはやっぱり温泉。「冬の温泉は一味違うね!」と上田慧さん(24)は語る。二日目は支笏湖にて記念撮影、湖の水面を覗くと、そこには虹鱒が泳いでいました。支笏湖でも外来種が繁殖し、生態系に影響が出てきているなか、少し安心する風景でもありました。大自然を感じた後は、アウトレットモール・レラ(千歳)に立ち寄り昼食。皆好きなものを選んで食べました。2日間を通して、「満喫」した旅行でした。

軽作業部 日帰り旅行 in 旭川

ポプリ

日帰り旅行コースは、旭川ラーメン村・旭山動物園がメイン。北海道のご当地ラーメンと言えば、札幌ラーメン(味噌)・函館ラーメン(塩)そして旭川ラーメン(醤油)で有名。各地で、屋台や、ラーメン横丁・村が出来るほど北海道人には愛されるラーメン。そのラーメンへのこだわりは、日本独特の文化ともなっている。日帰り旅行では、その北海道三大ラーメン地旭川まで、ラーメンを食べに行くこだわり：「日帰りで旭川まで来てラーメンを食べるなんてなんてないたかなんたろう!」「うま味噌ラーメン!」人の話聞いている?...(笑)なんて場面もありました。でも皆満足に旭川ラーメンを堪能しました。



その後はあの有名な動物園へ。旭山動物園は一時閉園の危機に追い込まれそうなきもあつたが、様々なアイデアと工夫により一躍全国的に有名な動物園となりました。動物本来の習性に合わせた展示方法で、いきいきとした、動物たちの姿を見ることが出来ました。この日の旭川は、氷点下一度。もともと厳しい寒さの環境に生息している動物(アザラシ・ペンギン・シロクマ・レッサーパンド・狼等)たちにとつては、「恵の雪」かもいけませんね。対象的に温かい地域に生息するオラウータンに比べては、厳しい季節も見ることが出来る。それが出来本当に満足しているようでした!